

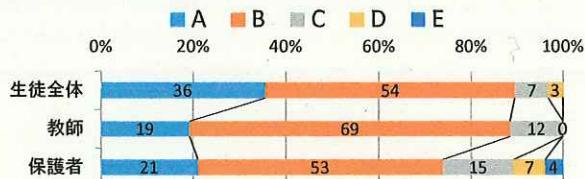
平成29年度 日進北中学校 学校診断アンケートの結果①【生徒、教師、保護者】

<回答数> 生徒:340名 教師:26名 保護者:210名

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| A: よくあてはまる | B: どちらかと言えば、あてはまる |
| C: どちらかと言えば、あてはまらない | D: あてはまらない |
| E: 分からない、どちらとも言えない(無回答) | |

① 進んであいさつをしている。(%)

	A	B	C	D	E
生徒全体	36	54	7	3	/
教師	19	69	12	0	/
保護者	21	53	15	7	4

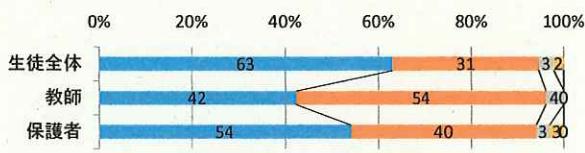


【考察】

・例年、この設問に対する3者の評価の違いが顕著であるが、本年度は教師のAB回答率が上がり、生徒と類似している。生活委員会や生徒会執行部、学年委員の地道なあいさつ運動が実を結び始めているとみられる。今後もあいさつを強要する指導に陥らず、日常の中で教師や生徒自ら元気に挨拶を励行する姿勢を充実させることで、A回答生徒を増やしていきたい。授業の開始、終了も同様に取り組みたい。

② 体育祭や文化祭など、行事を楽しんでいる。

	A	B	C	D	E
生徒全体	63	31	3	2	/
教師	42	54	4	0	/
保護者	54	40	3	3	0

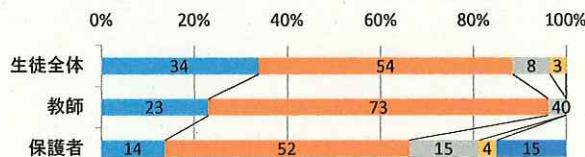


【考察】

・行事については、本年度もAとBについて3者とも高い回答率を示している。体育祭は昨年度の種目構成大改革からさらに改良を加えて実施したが、今後も生徒、保護者、教師がそれぞれの立場で楽しむことができる行事として成長させたい。北中の舞やドントンブルに課題があり、改良策を早期に立てていきたい。今後も行事を核とした主体的で活力のある学校生活の推進を図っていきたい。

③ 授業は、学びやすい。

	A	B	C	D	E
生徒全体	34	54	8	3	/
教師	23	73	4	0	/
保護者	14	52	15	4	15



【考察】

・教師と生徒がともに授業に対して真摯に取り組んでいる様子が見られる。しかし、授業のペースが速く、ついていけない生徒の悲鳴記述が顕著に見られる。下位生徒を拾い上げる手立てを具体的に考えなければならない。質問項目④とも絡めて考え、授業時間以外の補充学習の方法について、何か工夫を凝らした一手を取り組みたい。
・保護者は昨年と同等の回答率である。保護者からは見えにくい質問事項である。子どもが家で「今日はこんなことを学んだ」と喜んで話せる学習を展開すれば、保護者のAB回答率も上がるであろう。

④ 授業で分からぬことについて、先生に質問しやすい。

	A	B	C	D	E
生徒全体	24	54	16	6	/
教師	31	50	19	0	/
保護者	10	45	21	9	14

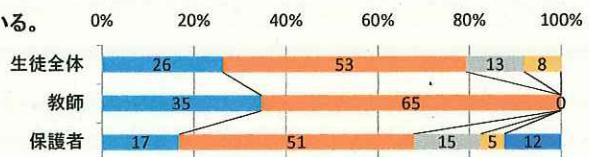


【考察】

・約2割の生徒と教師が、「質問しにくい」と回答し、昨年を上回っている。「教師が忙しい」「じっくり質問する時間がない」「部活動で職員室に先生がいない」という環境問題について、具体的な対策を講じていく必要がある。諸活動も大切であるが、質問して問題解決体験を得た生徒は、自主的に質問するようになり、より充実した学校生活を送ることができる。
・保護者の回答からは「もっと学校で先生に質問して、分かるように教えてほしい」という願いが読み取れる。
・部活動がない日【テスト週間を含む】や週日課のどこかに質問コーナーや質問タイムを設けたり、質問カードの活用法改善を図ったりするなどの取り組みをさらに進化させていきたい。

⑤ 学校には、自分の気持ちをわかってくれる先生がいる。

	A	B	C	D	E
生徒全体	26	53	13	8	
教師	35	65	0	0	
保護者	17	51	15	5	12

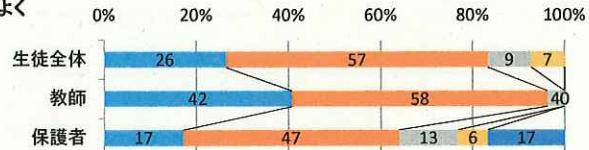


【考察】

- ・生徒理解について、教育相談の充実等、重点を置いて取り組んできたが、生徒のCD回答率は、昨年の15%から21%と上がってしまった。教師に対して心を開くことができない現状について、謙虚に受け止め原因の追及を要する。一部の心を閉ざした生徒の存在に気付き寄り添い、心を配る姿勢を忘れずにしていかたい。
- ・保護者にとってこの項目は、子どもの直接的言動と、教師との会話を通しての判断になると見える。この項目の保護者のA・B回答率は昨年の54%から68%と上がっている。さらに8割を超えることを目指したい。

⑥ 先生たちは、自分たちが困っていることについて、よく取り組んでくれる。

	A	B	C	D	E
生徒全体	26	57	9	7	
教師	42	58	4	0	
保護者	17	47	13	6	17

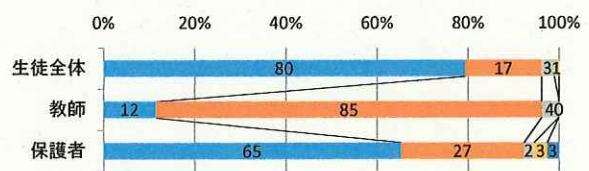


【考察】

- ・生徒のAB回答率が83%であり、概ね満足できる。今後も、報告、連絡、相談を大切にして、教師が一人で問題を抱え込むことなく、学年や学校全体で組織として素早く対応できる力を伸ばしていかたい。
- ・保護者にとっては、項目⑤よりも見えていく設問と思われる。学年通信、学校だより、HP等を活用し、学校の情報を積極的に公開していく、理解を得たい。

⑦ 学校に仲の良い友達がいる。

	A	B	C	D	E
生徒全体	80	17	3	1	
教師	12	85	4	0	
保護者	65	27	2	3	3

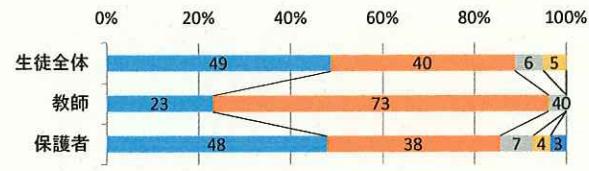


【考察】

- ・3者の回答率は昨年と同じ傾向が表れた。生徒、保護者のA・B回答率が極めて高い点は満足できる。
- ・教師は、友人関係の重要性に目を向け、慎重に回答している様子が見られる。表面的な友人関係ではなく、眞の友人とはどのようなものかを考えさせ構築できる力を身に付けさせるとともに、孤立傾向にある生徒をもれなく把握し、支援していかたい。

⑧ 学校へ行くのが楽しい。(%)

	A	B	C	D	E
生徒全体	49	40	6	5	
教師	23	73	4	0	
保護者	48	38	7	4	3

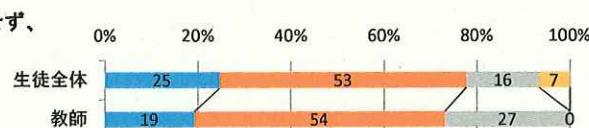


【考察】

- ・生徒のA・B回答率が89%を示したことは概ね満足できるが、今後も「生徒が行きたい学校」「保護者が行かせたい学校」を目指して邁進していかたい。
- ・一部生徒は心を閉ざしていることや、生徒の心の状態は毎日変化していることを忘れずに生徒指導に取り組んでいかたい。

⑨ 委員会や実行委員、有志の活動など、人任せにせず、みんなのためになることを進んで行っている。

	A	B	C	D
生徒全体	25	53	16	7
教師	19	54	27	0

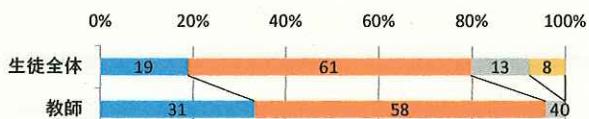


【考察】

- ・AB回答率が、生徒78%（昨年84%）、教師73%（昨年96%）であり、CD回答率から言うと、生徒23%（昨年16%）、教師27%（4%）と、大きく落ちている様子が見られる。生徒会活動や学校行事等における生徒の活動は年々充実している感があるが、一部生徒に限られているという指摘があるので見直していかたい。
- ・一部生徒のコメントには、自分に自信がなく消極的になっている様子が見受けられる。自尊感情や自己有用感が低い生徒の存在も明らかであり、支援を要する。生徒の背中をそっと押すことで、成功体験を積ませ改善していくとよい。

⑩ 自分は学校で認められていると思う。

	A	B	C	D
生徒全体	19	61	13	8
教師	31	58	4	0



【考察】

- ・項目⑨とも関連があるが、生徒のC・D回答率が21%で高い。また、教師の評価を大幅に下回っている。行事等で活躍する生徒に脚光が集まるほど、隠れている生徒の自尊感情は下がるのかもしれない。また、運動神経や学力、入賞といった小さな枠で自分を評価し、他と比べて劣等感を持っている様子も見られる。
- ・どの生徒もそれぞれ得意分野があり、努力を積み重ねている面がある。登校し教室で笑顔を見せるだけでも場を和ませ、立派な姿だ。我々教師は、今後も生徒の存在そのものを認め励まし自信を持たせていきたい。あえて目立たない生徒に目を向けて、大切な存在であることを認めて伝え、自己有用感を高めさせるという視点も持たなければならない。今後も「ありがとう」の言葉を大切にしていきたい。

⑪保護者

学校は子どもたちの活動の様子を積極的に伝えようとしている。

	A	B	C	D	E
保護者	33	50	8	4	5



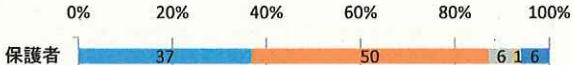
【考察】

- ・昨年同様、A・B回答率は83%で概ね満足できる。学年通信や諸便り、HPによる情報公開に加え、PTA活動の充実や日常の保護者との連絡や会話の充実が図られている成果と考える。
- ・保護者が学校へ足を運ぶ機会は少ない。今後も事実に基づく積極的な情報公開を進め、学校理解を深めてもらえるように努めたい。

⑫保護者

学校が保護者に出す文書(たより、連絡等)やホームページの内容は分かりやすい。

	A	B	C	D	E
保護者	37	50	6	1	6



【考察】

- ・4年連続A回答率が上昇(33⇒34⇒36⇒37)してきた。学年通信、学校だよりをはじめとした各種便りの内容は子どもの様子や伝えたいこと、保護者が知りたいことを的確に表すよう、各担当が頑張っている。
- ・HPもアクセス数が増え、感想をいたたくことも増えてきた。今後も、日常の活動場面(教育活動)を積極的に公開し、保護者や地域の理解や協力を得ていきたい。

★ その他、より楽しい日進北中学校にするために、ご意見がございましたらご記入ください。

	保護者からのご意見	校長コメント
情報発信	<p>HPから日々の様子が目に浮かび、先生方の温かく子どもたちを見守り、信じ、指導しているお気持ちが伝わってきます。</p> <p>HPの写真が他の学校に比べて大変多く、日常の様子がよくわかります。とてもありがとうございます。</p> <p>HPを楽しく拝見しています。子どもの様子がよくわかり、先生方の子どもたちへの思いが伝わってきます。今後も楽しみにしています。</p> <p>子どもに常に寄り添ってくださっているなど感じ、感謝しております。多感であり学校のことを多くは話してくれない年頃なので、HPで情報が得られるのはとても助かっています。家での会話のきっかけとなります。</p> <p>文書やHPは他校に比べると最も分かりやすくなっています。</p> <p>不審者情報のメールはありがとうございます。今後もタイムリーな情報提供と学校側の対策を望みます。</p> <p>HPは、日頃の様子がとてもよくわかります。行事予定の更新がもう少し早いとありがたいです。</p> <p>月予定(部活)等、少し早めに知らせていただけるとありがたいです。</p> <p>北中便りの大会結果を間違えないでください。チェックを強化し、誤った情報を流さないようにしてください。</p>	<p>・温かい励ましのお言葉をいただきありがとうございます。</p> <p>・HPは、本校の教育活動の様子を少しでも多く知っていただこうと更新しています。個人情報の扱いについては、慎重に行っているつもりですが、お気づきの点がありましたらお知らせください。</p> <p>・学年通信や保健だよりは、各学年、養護教諭が力を入れて作成しています。こちらは個人情報満載なので、HPにはあげていません。毎月の集金内容や集金額などはHPに掲載しております。</p> <p>・月行事計画は、最終決定したところで子どもに交付し、HPにあげています。遅れないように努めます。</p> <p>・外に出す情報について誤りがないよう、チェック体制を強化してまいります。</p>
行事関係	<p>行事がとても楽しいようなので、満足度が高い学校だと思います。</p> <p>積極的な子も、そうでない子も参加しやすい行事ができるといいと思い、期待しています。</p> <p>学校行事の写真をネット販売してほしいです。</p> <p>行事がいつも木曜日なので金曜とかにもしてほしいです。親子で参加できる行事があつたら楽しいかもしれません。</p> <p>体育祭では、投げき種目が加わり参加しやすくなりました。</p> <p>体育祭の進行内容が活気なく、いまいち楽しくない。</p> <p>「北中の舞は楽しくない」と子どもたちは言っている。</p> <p>文化祭では、悲しみの曲が減り、安心して参加できたことに感謝します。</p> <p>合唱コンクールは素晴らしいと思います。以前に比べてクラスが増えて、長時間になり子どもが疲れているように見えました。</p> <p>文化祭のリハーサルのやり方を改善し、子どもが納得するようにしてほしい。</p>	<p>・行事のたびにアンケートにご協力いただき感謝しております。ご感想やご意見も取り入れながら、よりよい行事を目指して改善してまいります。</p> <p>・行事写真のネット販売を検討していきます。</p> <p>・行事はどの学校も月・木開催が多いと思います。教員の出張がない曜日のためです。全てがそうではありませんが、ご理解のほどよろしくお願ひいたします。</p>

部活動関係	<p>部活動を頑張ることで、自分でもやれば頑張ればできるようになるということを学び、目標に向かってみんなで頑張ることの大切さを学べてよいことだと思います。顧問の先生の時間にも限りはありますが、どんどん頑張らせてほしいと思います。</p> <p>部活動をもっと選択できるように増やしてほしい。活動時間も短いので、長くしてほしい。</p> <p>日頃先生方は部活動に頑張ってくださっていますが、午後の部活動などは、専門の指導員を巻き込み、レベルを上げてほしいです。</p> <p>子どもは学校生活をとても楽しんでいます。部活動が見学できたり、担当の先生にお会いできる機会があればいいなと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・開校5年目でようやく美術部を立ち上げることができました。生徒数増と教員定数増の折を見て検討していきます。 ・部活動の在り方について、国、県、市町で活動時間縮小へ見直しが進められています。それを受けて学校は、子どもたちの居場所、熱中できる場所として、在り方を検討していきます。
学習・進路関係	<p>勉強面では、なかなか個々で分からぬところを先生に聞きづらいので、先生たちの負担にならなければ、授業後にテスト前だけでも補習クラスを作っていたいと聞きやすいのかなと思います。</p> <p>勉強が苦手な生徒に対して、もっと手厚い対策をとっていただきたいです。</p> <p>1時間の授業の中で、質問できる時間や、各自復習する時間を作ってほしい。分からなかつたら質問できる環境を作ってほしい。</p> <p>部活動も大切だと思うが、基礎学力をどの子にもつけられるような取り組みがほしい。補習の時間を作って、勉強についていけない子を減らしてほしい。</p> <p>遅進者指導をして、授業に遅れないようにしてほしい。</p> <p>授業参観等で、活気があるというよりはただ騒がしく授業にならない学級をたびたび見かけた。同じ学級でも、別の授業では集中できていたので残念だ。特別教室で席の形が違っても、先生の方に顔を向かせた方がよい。</p> <p>定期テストに範囲外の問題を出題されるのは、とても残念です。</p> <p>1学期は中間テストをやるべきだ。範囲も広すぎてしまい、常識とあまりにもかけ離れている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行事や部活動ばかりに力が入って、授業が疎かになってしまいません。我々教師にとって「授業力向上」は最大の課題であり、子どもにとって「分かる授業、楽しい授業」が展開できるように、現職教育で研鑽しています。教え込む授業ではなく、子どもが主体的、能動的に学ぶ授業(アクティブラーニング)を目指します。 ・「授業のスピードが速くて分からない」という声をよく耳にします。質問コーナーや学習補充の取組がさらに定着し機能するように努力します。 ・テストの間隔はおよそ7~8週間で計画しています。4月当初は諸行事で授業時数が少ないので中間テストは行っていません。旅行、宿泊的行事の準備を充実させています。
校則関係	<p>給食時の大好きなテーブルクロスは、衛生面、アレルギー問題、においなどがとても気になるのでやめていただき、個々のナフキンに変更してほしい。</p> <p>女子のカーディガンの着用期間が必要だと思います。</p> <p>学校への荷物が多くて生徒が前かがみで下を向いて登校している姿が目立ちます。肩こりもひどそう。答えまで毎日持っていくかなくても良いと思う。もう少し荷物を軽くしてあげたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の決まりについては、時代の変化に伴い改善していくものと心得ています。ご指摘の点についても、生徒指導部会で検討してまいります。
感想と要望	<p>いつも先生方は、叱るのではなくほめて伸ばそうとしてくださるので感謝をしています。</p> <p>不器用な人間が生きていくことは大変ですが、信頼されたり、信頼したりする喜びや、友人のために役立てる喜びを知り感謝しています。今後も、勉強や運動、芸術が苦手な子も努力をあきらめない中学校でありますように。</p> <p>先生方が一人一人丁寧に関り、必要なご指導をいただいているので、子どもはまじめに生活し学校生活を楽しんでいます。ありがとうございます。</p> <p>子どもが話すときに、自分のことを名前で言います(私ではなく)。たびたび注意しますが、周りの友達や先輩も同様のようです。</p> <p>目立って、実力ある生徒の周りには、それをサポートしてくれる仲間がいると先生方に理解していただきたい。</p> <p>先生によつては、子どもを公平に見ていないように感じます。子どものやる気がなくなるので、今一度考えていただきたい。</p> <p>子どもが友人関係で悩んでいるときがありますので、ご指導よろしくお願ひします。</p> <p>全生徒に差別やひいきのない平等なかかわりを先生は心がけてほしいです。</p> <p>子どもから聞かれる言葉は、先生が小学校の先生に比べて元気がない、やる気がない、……といったネガティブな発言が増えています。「学校行っても面白くない」という言葉が増え、この先心配です。</p> <p>子どもたちは先生方の言動にとても敏感に反応しています。子どもを指導するうえで人格を否定するような言葉を発したり、挨拶したのにあからさまに無視するような態度は改めてほしいです。</p> <p>子どもを指導するときに、成績をちらつかせるような発言はやめた方がよい。脅しているように聞こえる。</p> <p>先生の中には、生徒を小馬鹿にする方がいらっしゃるようです。子どもは言われた言葉に傷ついております。頭ごなしに決めつけるような考えはやめていただきたいと切に願います。成績下位の生徒を相手にしない先生がいて非常に悲しい。表面ばかりで生徒に寄り添っていない。</p> <p>創立記念で植樹した桜の木の周りが、雑草だらけのままなのはとても悲しいです。思い切って駐車場にしてはどうですか。桜の木をもっと植えてほしいです。裏ではなくて表側にも…。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多くのご感想とご意見をいただきありがとうございます。学校の願いは、子どもたちが義務教育最後の3年間の中で、七回転んでも八回起き上がり、仲間と切磋琢磨しながら心身ともに成長し、夢や希望をもって卒業することです。そのために子ども一人一人と向き合い、支援していきます。至らぬ点がありましたら、今後もご指摘いただけたと幸いでです。 ・アンケート結果から、子どもたちに自己肯定感や自己有用感を持てない様子が見受けられます。「生徒会役員や級長をやってないから認められていない」「勉強ができないから…」「運動が苦手だから…」「忘れ物多いから…」など、狭い限られた価値判断で自分に自信が持てない子がいます。どの生徒もそれぞれの得意分野があり、努力を積み重ねている面が必ずあります。登校し教室で笑顔を見せるだけでも場を和ませている。我々教師は、生徒の存在そのものを認め励まし自信を持たせていきたいと考えています。あえて目立たない生徒に目を向けて、大切な存在であることを認めて伝え、自己有用感を高めさせるという視点を持つよう再度確認します。 ・広い敷地の中、夏場の雑草の勢いに除草作業が追いつかず、申し訳ございません。桜は大歓迎なのですが、土壌が悪いようで来賓玄関前の桜や紅白の梅がピンチです。教育委員会に相談して対処していきます。

